JAPAN HOTEL REIT

2023 年４月 25 日

各　位

不動産投資信託証券発行者名
東京都渋谷区恵比寿四丁目１番 18 号
恵比寿ネオナート
ジャパン・ホテル・リート投資法人
代表者名　執行役員　増田　要
（コード番号：8985）
資産運用会社名
ジャパン・ホテル・リート・アドバイザーズ株式会社
代表者名　代表取締役社長　古川　尚志
問合せ先　取締役　財務企画本部長　花村　誠
TEL：03-6422-0530

2023 年３月度の月次開示に関するお知らせ

ジャパン・ホテル・リート投資法人（以下「本投資法人」といいます。）の 2023 年３月度におけるホテルの運営状況につき、変動賃料等導入 25 ホテル（注１）合計の月次売上高並びにホテル宿泊部門の客室稼働率、ADR 及び RevPAR を下記のとおりお知らせいたします。

なお、各ホテルの個別の運営実績につきましては、本投資法人のホームページ（注２）に掲載していますので、当該ホームページをご参照ください。

本投資法人は変動賃料の支払いを伴うあるいは運営委託収入を得るホテルであって、ホテル賃借人等から開示について同意をうけることができたホテルについて継続的に月次開示をいたします。

記

【ご参考】

ホテル／項目		3月度	対2022年同月増減（注9）	対2022年同月比増減率	累計（注10）	対2022年累計増減（注11）	対2022年累計比増減率	対2019年同月比増減率（注12）	対2019年累計比増減率（注12）
変動賃料等導入25ホテル合計	稼働率	82.6%	27.4%	49.8%	73.9%	25.5%	52.6%	-3.9%	-11.1%
	ADR（円）	17,917	6,693	59.6%	15,966	5,415	51.3%	9.9%	5.5%
	RevPAR（円）	14,795	8,607	139.1%	11,794	6,686	130.9%	5.6%	-6.1%
	売上高（百万円）	5,093	2,585	103.1%	12,188	6,181	102.9%	-1.4%	-11.1%
うちHMJ16ホテル	稼働率	82.0%	27.7%	51.1%	72.8%	25.2%	52.9%	-5.5%	-11.7%
	ADR（円）	20,695	7,872	61.4%	18,122	6,290	53.2%	13.0%	8.9%
	RevPAR（円）	16,965	10,007	143.8%	13,191	7,560	134.3%	6.9%	-3.8%
	売上高（百万円）	4,530	2,285	101.8%	10,682	5,381	101.5%	-0.7%	-9.9%

※2020 年２月以降、新型コロナウイルスの影響が大きいため、対 2019 年比増減率を併せて記載しています。

＜特記事項＞

2023 年３月の訪日外客数は、中国が 2019 年同月比-89.0%にとどまる一方で、米国をはじめその他の地域では順調な回復傾向が続き、2019 年同月比-34.2%と先月から 9.2pt 増加しました。また、日本人需要については、全国旅行支援や春休みなどにより好調に推移し、本投資法人が保有する変動賃料等導入 25 ホテル合計の 2023 年３月度の RevPAR は、2019 年同月比+5.6%となりました。

このような環境下、各ホテルオペレーターと連携し、先々の国内外需要の取り込みに向けて、保有物件の特色を存分に活用した魅力的な商品造成や付加価値の提供、効果的なマーケティング施策、セールスチャネルの拡大を図るとともに、引き続きコストマネジメント及び運営の合理化に努め、ホテルパフォーマンスの継続的な回復・成長を目指します。

なお、2020 年７月より新型コロナウイルス感染者の受け入れを行っていたザ・ビー池袋は、2023 年３月末にて受け入れを終了、４月１日より営業を再開しております。

※新型コロナウイルス感染症無症状者及び軽症者の受け入れについて、現在一ホテル（注 14）で行っております。

（注１）変動賃料等導入25ホテルとは、ＨＭＪ16ホテルに、イビス　スタイルズ　京都ステーション、イビス　スタイルズ札幌、メルキュールホテル札幌、メルキュールホテル沖縄那覇、メルキュールホテル横須賀、ザ・ビー池袋、ザ・ビー八王子、ザ・ビー博多及びザ・ビー水道橋を加えた25ホテルをいいます。また、ＨＭＪ16ホテルとは、神戸メリケンパークオリエンタルホテル、オリエンタルホテル　東京ベイ、なんばオリエンタルホテル、ホテル日航アリビラ、オリエンタルホテル広島、オリエンタルホテル　沖縄リゾート＆スパ（旧オキナワ　マリオット　リゾート＆スパ）、アクティブインターシティ広島（シェラトングランドホテル広島）、オリエンタルホテル福岡博多ステーション、ホリデイ・イン大阪難波、ヒルトン成田、インターナショナルガーデンホテル成田、ホテル日航奈良、ホテルオリエンタルエクスプレス大阪心斎橋、ヒルトン東京お台場、ホテル　オリエンタル　エクスプレス　福岡天神及びオリエンタルホテル　ユニバーサル・シティの16ホテルをいいます。

（注２）各ホテルの個別の運営実績につきましては、以下のホームページをご参照ください。
https://www.jhrth.co.jp/ja/portfolio/review.html

（注３）上記の数値及びコメントは資産運用会社が賃借人等から提供を受けた数値あるいは情報に基づいて算出・作成したものです。コメントはあくまでおおむねの傾向についての参考情報として記載するものにすぎません。

（注４）上記の数値あるいは情報は監査等の手続きを経ていないため、資産運用会社による独自の検証を行い得る性質のものではなく、個々の数値あるいは情報の内容の正確性・完全性について保証できるものではありませんのでご留意ください。また、各月の売上及びその合計は、後に提出する有価証券報告書等に記載される各月の売上あるいは６か月間及び年間の売上合計と一致しない場合があります。

（注５）稼働率：対象期間の販売客室数を同期間の販売可能客室数で除した数値をいいます。

（注６）ADR：平均客室販売単価（Average Daily Rate）をいい、一定期間の宿泊部門売上高合計（サービス料を含みます。）を同期間の販売客室数合計で除した値をいいます。

（注７）RevPAR：販売可能客室数当たり宿泊部門売上（Revenue Per Available Room)をいい、一定期間の宿泊部門売上高合計を同期間の販売可能客室数合計で除した値をいいます。

（注８）客室稼働率については小数点以下第二位を、ADR、RevPARについては小数点以下第一位を四捨五入して記載しています。売上高については、百万円未満を四捨五入して記載しています。

（注９）対2022年同月増減とは当該月と2022年同月との増減を記載しています。

（注10）累計とは期首（１月）から当該月までの累計値を記載しています。

（注11）対2022年累計増減とは、期首（１月）から当該月までの累計値と2022年期首から前年該当月までの累計値との増減を記載しています。

（注12）対2019年同月増減とは当該月と2019年同月との増減を記載しています。また、対2019年累計増減とは、期首（１月）から当該月までの累計値と2019年期首から2019年該当月までの累計値との増減を記載しています。

（注13）売上高はテナント賃料を除くホテル部分のみの売上です。

（注14）関係者の承諾が得られていないため、ホテル名を非公表としています。

＊　本投資法人のホームページアドレス：https://www.jhrth.co.jp/